

ベトナムでの女性の社会進出・地位向上



ベトナム社会において、女性は非常に重要かつ必要不可欠な役割を果たしてきました。しかし、女性自身はそれぞれの仕事や生活の多くの局面で様々な障壁に直面しているのも事実です。具体的には、(1) 「男は家屋を作り、女は家庭を作る」という昔からの概念があり、女性は出産、家事、家族の世話をする責任を負っていると考えられています。つまり女性は、母親と妻の二つの役割を担っているため、時間面などで多くの制約を受けているわけです。そのため、自分の才能を伸ばす機会が限定されるという目に見えない「障壁」が存在するのです。また(2) 経済面でも、女性の高収入が得られる仕事へのアクセスは男性に比べ限定的です。その背景の一つに、6か月の産休で仕事の停滞が避けられないので、多くの企業が若い女性従業員の採用には二の足を踏んでしまうことがあります。

こうした状況を踏まえ、ベトナム政府は女性のジェンダー平等、社会進出、地位向上を支援するために具体策を講じています。それは、(1) 男女共同参画法、家庭内暴力防止法、労働法、社

当資料は、情報提供を目的として、キャピタルアセットマネジメント株式会社(CAM)が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAMが運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

会保険法の公布、(2) ジェンダー平等に関する国家行動プログラム、家庭内暴力の防止に関する国家行動プログラムの公布、(3) 女性起業家が事業主になることを奨励するためのメカニズムや政策の拡大、などです。

このような政府の施策の追い風を受け、新時代のベトナム人女性が努力した結果、政治、企業経営、雇用、スポーツなどの各分野で女性の地位が向上しつつあります。政治の分野では、政治局のメンバー、国会議長、国会の副議長、副大統領、大臣、副大臣など、多くの重要な指導的地位に女性が就くようになりました。地方レベルでも、多くの女性が重要な政治的役割を果たしています。経営に関しては、ベトナム商工会議所 (VCCI) の女性ビジネスリーダーの経営参画に関する調査によると、女性が所有する企業の割合は2009年の4%から2019年9月の24%に増加しました。また、2019年のGrant Thorntonの調査によると、ベトナム企業で経営に参加する女性の割合は、フィリピンに次ぐ約36%で、アジアで2番目にランクされました。女性の労働参加率についても、ベトナム統計総局によると、2020年に社会労働力の約45.4%が女性でした。女性の労働参加率は15歳以上の女性人口の68.7%に相当し、世界平均(約49%)を大幅に上回っています。



当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社 (CAM) が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。

ベトナム通信 ～当社グループ現地スタッフによる最新情報～

スポーツの分野でも、ベトナムの女性アスリートは、多くの名誉あるメダルを獲得し頑強なベトナム女性のイメージを高めています。チャン・ヒエウ・ガン選手は、シドニーオリンピック（2000年）のテコンドー女子 57kg 級で銀メダルを獲得し、ベトナム選手としてオリンピックでメダルを獲得した最初の選手となりました。2019年にフィリピンで開催された第30回東南アジア競技大会では、女子水泳のグエン・ティ・アイン・ビエン選手は6個の金メダルを獲得し最高位の選手とされました。



このような目覚ましい成果は、政府の政策、社会の認識変化、そしてベトナム女性の絶え間ない努力の結果です。これからも、ベトナム女性のジェンダー平等と社会的地位を高めるために、男性と同水準の公正な労働・報酬体制、産休期間の延長、女性労働者の訓練の充実など、女性の活躍を推進するためにさらなる制度の改善が期待されています。

【写真提供：JVRC】 <http://www.capital-am.co.jp>

以上

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社（CAM）が作成したもので、投資信託や個別銘柄の売買を推奨・勧誘するものではありません。また、CAM が運営する投資信託に当銘柄を組み入れることを示唆・保証するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。